バイオ Bio スプリング Spring

包装　2.5Kg×８入り

霜害軽減・アントシアン抑制剤

特　　長

水分の凍結を抑制、霜害を軽減致します。
芝草の栄養代謝を賦活し、耐寒性を高めます。
芝草の細胞内糖度を高め、アントシアンの発生を抑制致します。

使用方法

1000リットルのタンク車（散水車）に小袋（2.5Kg入）を４～５袋入れて、水に溶かして下さい。
これを、約4000m^{2}に均一に散布して下さい。（0.2ℓ/m^2）
１ケース（2.5Kg×８）で6400m^{2}から8000m^{2}散布できます。
11月頃より、毎月、１回～２回の連続したご使用が効果的です。
前処理として「ドクター芝用補酵素」を１～２回使用すると、一層効果が出やすくなります。

使用上の注意

成分は全部、食品添加物であり安全です。
効果を高める為に、必ず「固着性展着剤」を併用して下さい。
（例；ペタンV、ラビコート、トモノスプレースチッカー、
スルエート24、アビオンE　etc.）

Bio Spring

解説書

地上での「霜」の発生を抑制することは、膨大な経費がかかります。自然のエネルギーは大変大きなものです。そこで、特定の場所について「ある程度」の抑制を目的としたものとなります。

「霜」を抑制するのには、植物に「耐凍性」を持たせる方法と、「霜」の発生を抑制する方法があります。

植物の「耐凍性」は、植物の細胞内液の「濃度」と関係しています。この「濃度」は「糖度」でも「塩類濃度」でも、高いほど凍結しなくなります。また、表層に「結晶化」する水分には、「氷核」となるものが必用です。植物の葉や茎の表面から「氷核細菌」を除去することにより、一定の抑制力が出てきます。水滴の氷結を抑制するのに、「界面活性剤」も有効です。

一方、「日照の低下」と「低温」に対する植物の自己防衛反応として「アントシアン」の発現があります。刈り込みの激しい「グリーンの芝草」は、よほど上手に「養分の蓄積」を持たせないと「アントシアン」による「変身の術」しか自己防衛ができなくなります。

「日照の低下」や「低温」に対する植物への「栄養補給」には、植物体内での転換の必用の無い「アミノソリブル」と、糖を分解した「有機酸1番搾り」が有効です。植物の「細胞内液」に充分な栄養分が残されていれば、「変身の術」は不要になります。

以上の考察のように、「耐凍性を高める」ことと「アントシアンを抑制する」ということとは、共通のメンテナンスであることがわかります。

また、そのためには冬期を前にした毎月1～2回の早めの連続した「手当」が必要となることも分ります。「日照の低下」「気温の低下」とともに、早めのお手当をお勧め致します。

お問合せ先・販売店	バイオビジネス普及会